

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名		こころの健康と精神看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員		濱崎 美文	実務経験と その関連資格	精神科看護領域の教員経験あり。			
《授業科目における学習内容》 精神医療と看護の歴史的変遷では、精神障害者に対して正しく理解されなかったことでゆがんだイメージを作り、間違った認識でとらえ、社会のなかに根拠のない偏見で苦しむ人々を生み出すこともあった。日本の中でメンタルヘルスの状況の悪化、精神保健に関わる問題を疾患の枠組みからだけでなく、人間の生の営みという視点から誰にでも起こり得る出来事としてとらえ、精神障害者について正しく理解し、精神看護について学ぶ。そして、精神疾患のある人とのコミュニケーションや関係性を発展させる方法を学び、精神看護の基礎的能力を養う。							
《成績評価の方法と基準》 授業や演習への参加状況と受講後に課すレポートの課題提出状況(20%)、筆記試験(80%)で総合的に評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院 系統看護学講座 学生のための精神看護学 医学書院							
《授業外における学習方法》 授業終了時に示す課題を実施しておくこと。授業で学習した内容の理解の促進と知識の定着のために主体的に国家試験の問題に取り組んでおくこと。							
《履修に当たっての留意点》 こころの健康はすべての人に大きく深く関わります。興味を持って主体的に学んでください。自分たちは学生であり、学ぶ側であるという意識をもち、授業中の態度等に注意してください。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神看護学の基本的な考えと精神看護を実践するための視点や態度について説明できる		教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。	
		各コマにおける授業予定	精神看護学とは				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の生きにくさを自分の言葉で表現できる		教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。	
		各コマにおける授業予定	精神障害者の病の体験				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神の健康について自分の言葉で説明することができる		教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。	
		各コマにおける授業予定	精神保健の考え方				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	世界と日本における精神医学・精神医療や法律の流れを説明できる		教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。	
		各コマにおける授業予定	精神保健の歴史と法制度				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域で暮らす精神障害者のセルフケアを支えるための留意点と方法について説明できる		教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。	
		各コマにおける授業予定	地域における生活支援の実際				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者・看護師関係について説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。
		各コマにおける授業予定	患者看護師関係の理解		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ケアの原則と方法について説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。
		各コマにおける授業予定	精神看護におけるケアの原則と方法		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者との関わりを行い、患者と話しをする時の注意点について説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。
		各コマにおける授業予定	精神疾患患者とのコミュニケーション(ロールプレイング)		